

殺ダニ剤の登録一覧表

(2008年用)

JA全農山形 生産資材部

薬剤名	ナミハダニ			リンゴハダニ			感受性の低下実績	オウトウハダニ	チャノホコリダニ	サビダニ	ボルドー液・混用	りんご	おうとう	もも	ぶどう	なし	きゅうり	トマト	なす	すいか	いちご	メロン	菊	ばら	注 意 事 項	
	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫																				
ダニサラバフロアブル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	×	×	×	1,000	1,000	1,000	—	1,000	—	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・全てのダニの生育ステージに対して効果を示し、特に幼虫から若虫に対して効果が高い。 ・天敵その他有用動物に対して影響が少ない。
ダニゲッターフロアブル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	(○)	(○)	×	2,000	2,000	—	—	2,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルドー液との同時散布及び前後14日以内の近接散布は効果が劣る恐れがあるので避ける。 ・新梢新長期の日本なし(二十世紀を除く)に使用する場合は、以下の事項に注意する。 1) 豊水、新高、長十郎には新葉に葉害を生じる恐れがあるので使用しない。 2) 有機リン剤との同時散布及び10日以内の近接散布は新葉に葉害を生じる恐れがあるので避ける。 ・おうとうに使用する場合は、新梢伸長期に葉害を生じることがあるので、葉の硬化を持って使用する。 ・キャベツ、はくさい、こまつな、ねぎ、ばらに対し葉害を生ずる恐れがあるので、付近にある場合はかかからないように注意する。
バロックフロアブル	◎	◎	×	◎	◎	×	有り (ナミハダニ)	(○)	—	(○)	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ・成虫に対する活性はないが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効がある。 ・ボルドー液散布14日前まで使用し、ボルドー液散布後は使用しない。
マイトコーネフロアブル	◎	◎	◎	○	◎	◎	有り (リンゴハダニ卵)	(○)	(○)	○	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・ミハチ・蚕およびカブリダニ等の天敵に対する影響が少ない。 ・スモモ、ミニトマトにも登録あり
オサダン水和剤 ----- オサダンフロアブル	△	◎	◎	△	◎	◎	有り	—	(○)	(○)	×	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	— ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- 2,000	1,000 ----- —	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルドー液散布後は30日以上開ける。 ・本剤散布後は、10日間はボルドー液を散布しない。 ・水和剤はセルリ、柿、カーネーションにも登録あり
サンマイト水和剤 ----- サンマイトフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	(○)	----- (○)	○	○	1,500 ----- —	1,000 ----- —	1,000 ----- —	1,500 ----- —	1,500 ----- —	— ----- 1,000	— ----- 1,500	— ----- —	— ----- 1,000	— ----- 1,000	— ----- 1,500	— ----- 1,000	— ----- —	— ----- —	<ul style="list-style-type: none"> ・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・ダニトロン・ピラニアは交叉抵抗を示すので連用は避ける。 ・フロアブル剤は、トマトのオシツコジラミとカココジラミへの登録となる。 ・他に水和剤はすももに、FL剤は枝豆に登録あり。
ダニトロンフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	—	(○)	(○)	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	—	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000	<ul style="list-style-type: none"> ・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・サンマイト・ピラニアは交叉抵抗を示すので連用は避ける。
カネマイトフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	無し	(○)	○	○	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	<ul style="list-style-type: none"> ・アエティックと混用する場合はカネイトを先に希釈し混用する。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・すもも、うり類(漬物用)に登録有り。
コロマイト水和剤 ----- コロマイト乳剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	(○)	(○)	○	2,000 ----- 1,000	— ----- 1,000	— ----- 1,000	2,000 ----- —	2,000 ----- 1,000	2,000 ----- 1,000	— ----- 1,500	2,000 ----- 1,500	2,000 ----- 1,000	2,000 ----- 1,000	2,000 ----- 1,000	2,000 ----- —	2,000 ----- —	2,000 ----- —	<ul style="list-style-type: none"> ・蚕毒性があるので、桑園の周辺では飛散しないように注意する。 ・乳剤は、葉害防止のため安全性が確認された薬剤のみ混用する。 ・乳剤は、展着剤および葉面散布肥料とは混用しない。 ・乳剤はトマトのシルバーフコジラミ、トマトサビダニ、マハモグリバエに登録。 ・水和剤は食用菊にも登録有り。
コテツフロアブル	◎	◎	◎	×	×	×	無し	(○)	(○)	(○)	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	—	2,000 (食用)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・蚕毒性があるので、桑園周辺では飛散しないように注意する。 ・ハクイ・ガイ・イオン・キュリ・ナスの幼苗期は葉害の恐れがあるので使用不可。 ・オクラではオオタバコガに登録あり。 ・ミニトマトにも登録有り。 	

※各薬剤共、ボルドー液と混用して使用すると効果が低下したり、残効期間が短くなるようなので留意する。

※殺ダニ剤は抵抗性回避のため各薬剤共、年1回の使用とする。